



TOKYO 2020

2021年度における警備体制整備に係る 東京2020大会警備JVとの業務委託契約の締結について

東京2020大会組織委員会
警備局 装備調達部

2021年3月17日

1. 審議事項

大会時の自主警備体制を整備するため、大会従事警備会社の加盟推進活動等の業務を2018年度より、東京2020大会警備JVへ委託した。

2021年度についても、警備体制整備業務を東京2020大会警備JVへ委託することについて、ご承認いただきたい。

※本業務の委託および年度ごとに委託することについて、
2018年5月22日の経営会議にて決裁済み。

2. 背景と目的

- (1) 東京2020大会に向けた警備需要の高まりによって、競技会場が集中する東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県の一都三県地域及び短期集中的に要員が必要となる路上競技では警備員確保が困難となることが想定されたため、2018年4月に東京2020警備JVが発足、同年11月に基本契約を締結した。
- (2) 組織委として、統合的な運用を可能とする自主警備体制の整備に向け、警備従事会社の加入推進活動等、警備体制整備に係る業務を2018年度より警備JVへ年度ごとに委託した。
- (3) 主な業務として、2018年度は警備従事会社の加入推進活動・警備体制の検討、2019年度および2020年度は加入推進活動に加え、加盟会社の業務分担、警備員管理体制・ロジスティクス計画策定等の具体的な警備体制整備を委託した。なお、2020年度については、延期決定後、3か月ごとに契約を見直すことで、必要最小限の事務局体制で業務を継続した。
- (4) 2021年度については、大会本番に向けた運用管理・ロジスティクス計画を確実なものとする体制整備業務、大会期間中の情報収集・警備体制支援・ロジスティクス業務の実施、また、大会終了後の清算業務等を委託する。
- (5) ベニユー以外のファシリティ警備等の運用管理体制についても、大会本番時の情報収集・警備体制支援強化を図るため、JV事務局員を増員し、大会期間前・期間中の各種対応に備える。

3. 委託業務内容（2021年度）

（1）大会期間前

- 警備員募集業務（追加・変更分）
- 加盟会社ごとの業務分担資料の作成、加盟会社との契約手続き
- 警備対象ごと（ファシリティ警備対象 約160ヶ所含む）の各種打合せ参加・警備運用体制整備・警備手配
- ロジスティクス（宿泊・輸送・警備員制服等）計画策定・手配
- アクレディテーションカード（警備員登録）申請管理・手配
- 大会教育・勉強会の企画・実施
- システム整備

（2）大会期間中

- ベニユ어의警備運用管理業務（人員調整・情報収集・警備体制支援・連絡調整）
- ファシリティ警備（約160ヶ所）の警備運用管理業務（人員調整・情報収集・警備体制支援・連絡調整）
- ロジスティクス（宿泊・輸送・警備員制服等）業務

（3）大会終了後

- 警備費・遠方交通費・宿泊費等の支払精算業務
- 警備JVの精算・解散業務
- 各種記録作成

4. 契約関係

- (1) 契約先：東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
警備共同企業体（東京2020大会警備JV）

- (2) 予定調達方式：特別契約 ※年度ごとの更新契約

- (3) 執行見込額：V5予算の範囲内
※組織委員会の負担（一部パラリンピック経費）

- (4) 予定契約期間：2021年4月～2021年11月